

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
看護教育論	2単位30時間(15コマ) 講義科目	博士前期1年次 前期開講	<input checked="" type="checkbox"/> ・不可 (下記6参照)
科目責任者	小倉 能理子 (非常勤・弘前大学大学院保健学研究科) (調整担当: 小林 昭子)		
担当者	小倉 能理子 (非常勤・弘前大学大学院保健学研究科)、小林 昭子		
<b>1. 科目のねらい・目標</b>			
<p>ねらい</p> <p>看護ケアの質を高めるため、看護専門職の基礎教育、卒後教育、継続教育の現状と課題を知り、考察を深める。また、看護基礎教育、卒後教育、継続教育を担う看護職者として、教育的機能を果たすために必要な知識や技術を修得する。</p> <p>達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>看護学教育の歴史的背景を理解し、看護学教育の目的・目標・教育課程について説明できる。</li> <li>看護学教育における看護基礎教育、卒後教育、継続教育の現状を理解し、それぞれの課題について説明できる。</li> <li>看護基礎教育または看護継続教育の対象者の特性に応じた教育・支援を展開するための基礎的知識と技術を理解し、具体的な方略を展開できる。</li> </ul>			
<b>2. 授業計画・内容</b>			
第1回	看護教育の概念と目的・目標、看護専門職に期待される役割		
第2回	看護学教育の特徴、教育方法の種類		
第3回	学習に関わる理論		
第4回	看護基礎教育の歴史的変遷、現代の看護教育		
第5回	看護基礎教育、卒後教育、継続教育の現状と課題		
第6回	看護職のキャリア発達とキャリア支援		
第7回	看護学教育における教育評価の意義		
第8回	教育展開の方法と評価方法		
第9, 10回	教育展開の実際と評価 講義(研修)の指導案作成		
第11, 12回	教育展開の実際と評価 模擬授業の展開と評価		
第13, 14回	教育展開の実際と評価 実習の指導案作成		
第15回	看護教育の意義と課題 まとめ		
※第8～15回は事前課題があります。資料作成のうえ、発表してもらい、討議しながら進める予定です。			
<b>3. 教科書、参考書</b>			
(参考書)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>杉森みど里、舟島なをみ：看護教育学 第8版、医学書院、2024年、ISBN978-4-260-53365</li> <li>舟島なをみ：看護学教育における授業展開 第2版、医学書院、2020年、ISBN 978-4-260-04248-2</li> <li>舟島なをみ：院内教育プログラムの立案・実施・評価 第2版、医学書院、2015年、ISBN978-4-260-02395-5 ほか授業で紹介します</li> </ul>			
<b>4. 成績評価方法</b>			
第1～7回 レポート課題 50%			
第8～15回 授業への取り組み・プレゼンテーション 30%、模擬講義の実施 20%、			
<b>5. 受講要件</b>			
なし			
<b>6. 社会人学生に対する配慮</b>			
履修者の状況によって、講義日時、遠隔授業の実施も考慮します。			
<b>7. その他</b>			
第1～7回は、遠隔授業で行い、オンデマンド対応も可能です(ただし、レポートを課します)。第8～15回は、講義にディスカッション形式を多く含むことから、オンデマンドは実施しません。			